

### 【観光遺産産業化ファンド】 株式会社遠野ふるさと商社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、8月19日付で、株式会社遠野ふるさと商社（以下「当社」という。）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。またこれと併せて、当社及び株式会社岩手銀行（以下、「岩手銀行」という。）と特定専門家派遣契約を締結し、当社の地域商社としての経営基盤強化の支援並びに将来の経営者候補人材への機構の観光地域経営のノウハウ移転を行ってまいります。

なお、今回の投資は、本ファンドの第1号案件となります。

当社は、岩手県遠野市の観光・物産を軸とした経済活性化の実現に向け、一般社団法人遠野ふるさと公社より、地域の観光施設運営事業や地域商社事業の承継を受け、本年設立されました。現在、当社では遠野市きつての集客拠点である道の駅「遠野風の丘」の指定管理者として、産直野菜・物産店・飲食店を運営しているほか、遠野市の民俗文化を後世に伝える地域歴史博物館「伝承園」の施設運営や、六次化産業商品の企画・開発・販売を行っています。

今後、当社は国内有数の生産量を誇るホップや遠野市が生んだ暮坪かぶ<sup>くれつぽ</sup>などの魅力あふれる地域産品を使い、道の駅の集客力をさらに磨き上げ（集客拠点・機能の強化）、地域の物産振興の成長を支援していきます。加えて、地域の民俗文化及び文化施設に「体験」を取り入れ、新たな観光収益モデルを構築する（価値体験型観光への変革）ほか、滞在環境の整備を手掛けていき、遠野の面的活性化を推進していきます。

また本ファンドからの投資によるハンズオン支援と併せて、機構の特定専門家派遣制度を活用し、岩手銀行と連携しながら当社の地域商社としての経営基盤強化の支援を行っていくとともに、当社の将来を担う経営者候補人材についても、これまで機構が観光活性化ファンドの運営を通じて培ってきた観光まちづくり事業体の経営ノウハウの移転についても地域金融機関を通じて取り組んでまいります。

本ファンドは、今後も地域活性化モデルを各地に展開するために、地域金融機関等に対して本ファンドで得た知見やノウハウの移転を図るとともに、あわせて観光関連産業の活性化においても機構の専門人材を活用したノウハウ移転を通じた支援を行ってまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

会社名	株式会社遠野ふるさと商社
所在地	岩手県遠野市
代表者	代表取締役 杉村 亮、代表取締役 大里 政純
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市の地域資源を活用した地域活性化に関する事業</li> <li>・地場産品の開発研究、宣伝及び販売促進に関する事業</li> <li>・公共施設の受託管理運営に関する事業 など</li> </ul>

特定専門家派遣先の概要は以下のとおりです。

会社名	株式会社岩手銀行
所在地	岩手県盛岡市中央通り一丁目2番3号
代表者	代表取締役頭取 田口 幸雄
事業概況 (2020年3月末 時点)	資本金： 497 億円 貸出金： 1兆 8,203 億円 店舗支店： 109 カ所(本支店 107、出張所2)

#### 【参考資料】



遠野市きっての集客拠点である「道の駅 遠野風の丘」では産直野菜やジンギスカンなどの遠野名物を提供



遠野市はホップの栽培面積が全国1位。ビールを活用した街づくり構想が着々と進む



地域歴史博物館「伝承園」には国の重要文化財の南部曲り家など地域の生活様式を再現



「究極の薬味」とも評される暮坪かぶは遠野市の伝統野菜

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html> 機構ホームページをご参照ください。

以 上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590